

法律科目試験 「刑事法系」 問題

I 次の事項について、それぞれ 300 字以上 400 字以内で説明しなさい。

- (1) 両罰規定
- (2) 親族相盗例

II 次の事例について、X の罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く）。

X は、知人である A が宝くじに当選して大金を手に入れたことを聞いて、A の自宅に空き巣に入ることを思いつき、その下見をする目的で、某日午後 6 時ころ、A の居住する甲マンションに赴いた。同マンションは、玄関出入口から入ると、まず玄関ホールがあり、その玄関ホールの奥に施錠設備のない玄関内ドアがあり、これを開けて 1 階廊下を進むと、突き当たりの右手にエレベーターがある。X は、同エレベーターに乗り、A の居住する 407 号室のある 4 階で降り、同階の廊下を進み、407 号室の扉の前に至った。

その時、X は、407 号室の扉の前の廊下にキャッシュカードが落ちているのを発見した。同カードは、同日午前 8 時ころ A が出かける際に同人の鞆から落下し、誰にも気づかれないうままその場に落ちていたものであり、カード表面には、口座名義人として A の氏名が印字されている。X は、同カードを持ち去る目的で、それを拾い上げて自己のズボンのポケットに押し込んだ。その直後、折から甲マンションに帰ってきた A が、4 階の廊下を歩いてきて X の姿を認め、X の挙動に不審を抱き、「何をしている？」と尋ねた。

X は、咄嗟に A から上記カードの暗証番号を聞き出すことを思いつき、平素から上着の内ポケットに所持していた果物ナイフ（刃渡り約 10 cm）を取り出し、それを A に対して突き付けながら、上記カードを見せ、「静かにしろ。このキャッシュカードの暗証番号を言え。おとなしく教えれば、殺しはしない。」と語気鋭く申し向けた。A は、やむなく上記カードの暗証番号を教えた。X は、近所の乙銀行丙支店に赴き、同店舗内に設置された ATM 機から、上記カードと暗証番号を用いて現金 50 万円を引き出した。